

## 1. 件名

平成24年7月11日から16日の飛騨地方の降雨における岩屋ダムの防災操作（速報）

## 2. 概要

梅雨前線の停滞により、木曾川水系馬瀬川<sup>まぜがわ</sup>の岩屋ダムの流域では、11日16時から16日11時にかけて、累計約373mmの降雨を観測しました。

（1時間最大：12日4時約20mm、3時間最大：15日2時から4時まで約45mm）

この降雨により、岩屋ダムではダムへの流入量が別添図のように洪水流量（300m<sup>3</sup>/s）を超えました。この間において、最大で約559m<sup>3</sup>/s（12日19時12分）の水がダムに流れ込みました。

この洪水により岩屋ダムの貯水位は、標高408.87m（防災操作開始時）から最大411.25m（防災操作終了時）までで2.38m上昇し、およそ1,102万m<sup>3</sup>の水（ナゴヤドーム約9杯分）をダムに貯め込みました。

注）ダム地点での洪水流量とは、①ダム下流河川の無害流量（河川に影響がない流量）

②1年に1～3回程度発生する流量などにより、各ダムごとに決められた水量です。

ダムへの流入量がこの「洪水流量」を越えると防災操作を行います。

## 3. 雨量

流域平均総雨量 約373mm 降り始めからの累計値

7月11日16時から7月16日11時まで

ダム地点総雨量 約219mm 降り始めからの累計値

7月11日18時から7月15日20時まで

※ 岩屋ダム管理開始の翌年（1978年）から昨年（2011年）までのダム地点における7月の平均雨量は317mmです。そのため、11日から16日の6日間で例年の一月分の約70%の雨が降ったこととなります。

## 4. 岩屋ダム防災操作量

最大流入量 12日19時12分 約559m<sup>3</sup>/s

最大流入時ダム放流量 約295m<sup>3</sup>/s

洪水貯留量（最大流入時） 約264m<sup>3</sup>/s

注）今回の発表は速報値であり、今後の調査により数値等が変わることがあります。

### 岩屋ダム防災操作 [平成24年7月12～16日洪水]

